

第1期 香南市産業振興計画の取り組み について



はじめに	…	1
1. 第1期香南市産業振興計画の基本的な考え方と推進体制	…	2
2. 第1期香南市産業振興計画の基本目標と基本的方向	…	3
3. 第1次香南市産業振興計画の数値目標とKPI、主な事業	…	4
4. 香南市産業振興計画の取り組み状況	…	9
5. 香南市産業振興計画 K P I の達成状況について	…	10
6. 数値目標と重要評価指標の評価検証結果	…	15
7. 香南市産業振興計画の策定に向けて	…	17
8. 【参考資料】		
香南市 まち・ひと・しごと創生総合戦略資料より抜粋	…	20

令和元年11月27日

香南市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」

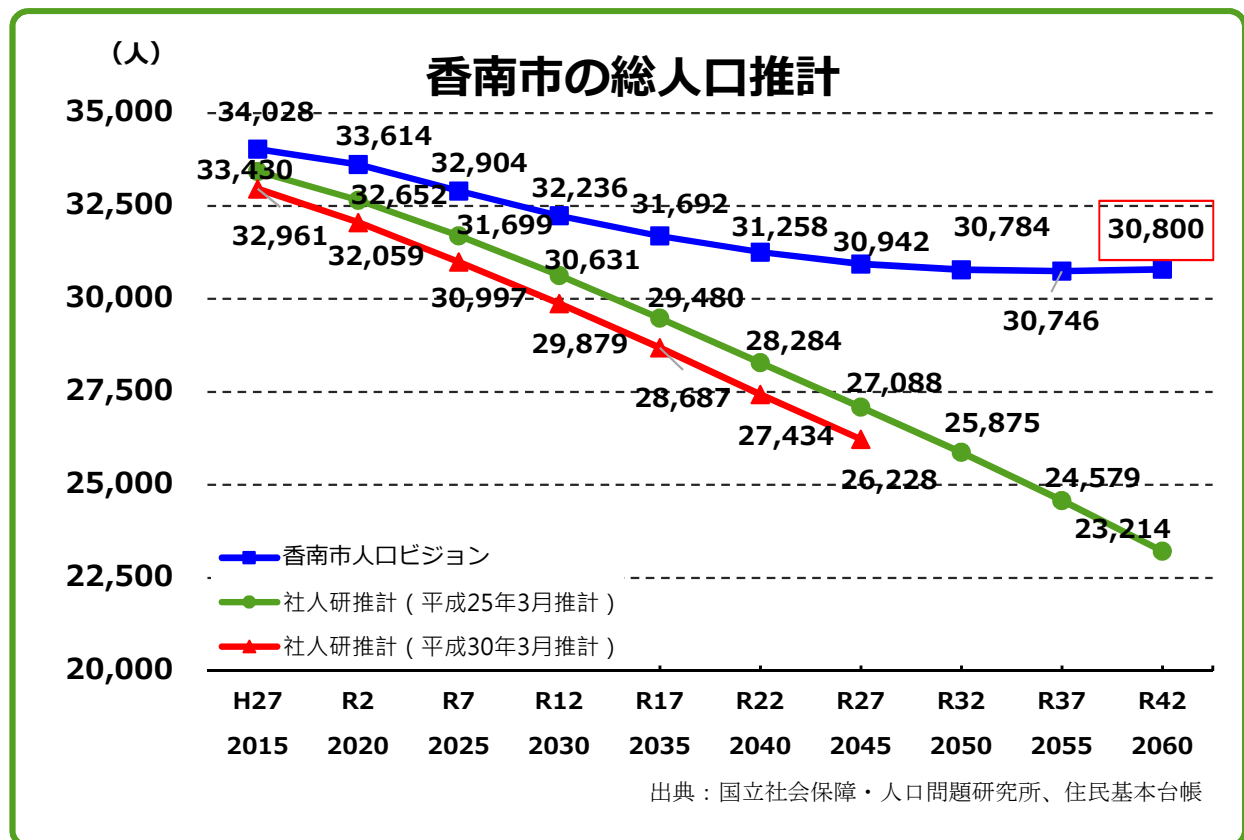
平成20（2008）年に始まった日本の人口減少は、今後若年人口の減少と老年人口の増加を伴いながら加速度的に進行し、2040年代には毎年100万人程度の減少スピードになると計測されています。

特に、生産年齢人口の減少による経済規模の縮小、高齢者の増加による社会保障費の増加など、人口減少は経済社会にも大きな影響を及ぼすこととなり、すでに「危機的状況」であると言わざるを得ません。

この現状を打破すべく、政府は平成26（2014）年12月に、国と地方が総力を挙げて地方創生・人口減少克服に取り組む上での指針となる「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」および、地方創生のための施策の基本的方向や具体的な施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定しました。

本市においてもこれを受け、人口の現状を分析するとともに、今後目指すべき方向を示す「香南市人口ビジョン」を策定しました。

その人口ビジョンにおいて、香南市は自然減の縮小や社会増に向けた一連の対策を講じることにより、**2060年の総人口の将来展望の見通し**について、**約3万人**の実現を目指すこととしています。



- 総人口：令和22（2040）年に31,300人、**令和42（2060）年に30,800人を維持。**
- 自然増減：合計特殊出生率が2030年に1.84、2040年に2.07、2050年に2.27まで段階的に上昇することを目指す。
- 社会増減：転入者の減少を極力抑え、2025年からは社会増約120人の状況が継続することを目指す。

1. 産業振興計画の基本的な考え方と推進体制

(1) 第1期 香南市産業振興計画の基本的な考え方

香南市では、これまで効率的な計画の推進、成果重視の計画を行ってきており、平成18年の合併以来、ようやく市民の間では、香南市民としての自覚や誇りも生まれ、名実ともに1つのまち「香南市」が形成されつつあります。

その一方で、人口や世帯数は横ばい傾向にあり、常住職業・通学者のうち、約半数以上が市外への流出しており、市内就業・通学者のうち、市外からの流入は約3割にとどまっています。

また、産業構造は、就業者数及び就業率ともに減少傾向にあり、就業者構成比についても、第1次、第2次産業が減少している一方で、第3次産業は増加しています。

主要指数の推移として、農家戸数は減少傾向である一方、農業生産額は平成17年から平成22年で増加。林家戸数は近年減少、漁業就業者は横ばいの状況であり、商業分野の従事者数は、卸売・飲食店・宿泊業は増加傾向である一方、工業分野における製造業従業者は減少傾向にあります。また、観光分野における道の駅の利用者数も減少傾向となっています。

こうした背景から、本市では、地域住民が元気に働ける、バランスのとれた持続可能な産業構造を構築することに加え、学びの段階から事業化までの多様なサポートにより、実践者のチャレンジを応援する体制を築くために、平成27年度から平成31年度(令和元年度)までの5か年計画として、「香南市産業振興計画」を策定いたしました。



(2) 推進体制について

効果的な推進に向けて

以下の視点により、着実に実行していきます。

- (1) 足腰を強め、「地力」を高める
- (2) 新たな産業づくりに挑戦する
- (3) 分野を超えた産業間の連携を強化する

PDCAサイクルの視点

香南市産業振興計画では、6つの分野で数値目及び達成に向けた各事業を定め、実現に向け取り組む。

また、各施策においても、効果を客観的に検証できる指標(重要業績評価指標(KPI))として、5年後(令和元年度)の目標を設定するとともに、各数値目標・事業ごとにPDCAシートにより進捗状況及び効果を点検、検証する。

年度毎においても、取り組み状況を点検・検証を行い、必要な対策の追加、事業の見直しを行っていく。

2. 第1期香南市産業振興計画の基本目標と基本的方向

香南市では、更なる活性化を進めるために、第一次産業をはじめとした「地産」を強化し、「自立」できる持続可能な産業を創造するとともに、「外貨」獲得に向けた付加価値化に取り組み、「産業の拡大」を図ることで、『地域住民が元気にいつまでも働くことのできる香南市』・『次代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、産業の新たな担い手となって活力が保たれる香南市』の実現を目指します。

また、当計画では、産業間・企業間・産業団体・市民・行政が連携し、農業・林業・水産業・商工業・観光・住宅の6つの分野別部会を構成し、魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出していきます。

6つの分野別部会	市の産業に関わる現状 (策定当時)	基本的方向
農業分野	<ul style="list-style-type: none"> 長引く不況による消費者の低価格・節約志向による販売の低迷 生産農家の減少と高齢化、後継者不足による労働力の確保 有害鳥獣による被害の増加 	担い手確保と基盤整備による農地の生産能力の向上
林業分野	<ul style="list-style-type: none"> 輸入材木の増加や木材需要の減少等による長期の価格低迷 生産性が見込めないことによる生産意欲の減衰 	原木生産の拡大・担い手の確保と技術の向上
水産業分野	<ul style="list-style-type: none"> 輸入増加や食生活の変化等による魚価の低迷 燃料費高騰、漁獲量の減少による漁業経営の不安定化 漁業従事者の高齢化による担い手不足 水産施設、水産機能施設の老朽化 	漁業生産性の向上と水産物を利用した加工産業や観光産業との連携
商工業分野	<ul style="list-style-type: none"> 大型店舗への消費者の流出や経営者の高齢化による商店街の空き店舗増加 商業の沈滞、商店の経営悪化、町の活気や治安面への影響 地域経済の活性化、雇用創出の観点からみた企業誘致の推進の必要性 	企業誘致による雇用の拡大と、商工業者への支援拡充に伴う地域の活性化
観光分野	<ul style="list-style-type: none"> 地域商店街や地域住民力を活かして行われる個性的なイベントを通して、訪れた人たちが地域との交流を楽しめる機会を創出する。 地域の情報発信力の強化が求められる 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じて様々なイベント等を開催し、新たな観光客の獲得に繋げる 地域観光の担い手が育ち、特色ある観光商品が次々と生み出され、販売される 核となる観光拠点を中心とした市内の地域周遊を進め、駅や直販所等で観光消費を拡大
住宅分野	<ul style="list-style-type: none"> 農地や緑地の住宅による従来の住環境や農地環境の変化 自然環境や周辺環境に配慮した有効な都市基盤の形成 快適で暮らしやすい住環境の整備 	防災性の向上を図った安全・安心のまちづくり



【香南市産業振興計画にあたっての視点】

- ①地域の強みを最大限生かすため、各産業間の横断的な取り組みより、総合的な仕組みを構築・強化する
- ②政策同士の連携による相乗効果、実効性を高める
- ③成果重視の目標設定、PDCAサイクルにより、スパイラルアップと継続的な戦略強化

【推進にあたっての視点】

- ④民間・産学、庁内の連携協議により取組みを進める
- ⑤各地区の連携・ネットワークの強化による知恵の結集

3-1. 第1次香南市産業振興計画の数値目標とKPI、主な事業

香南市産業振興計画では、各課題の解決と産業の振興のために、それぞれ数値目標を設定することとする。
 また、数値目標を達成するために各事業を設定し、それぞれで基本的目標と効果を客観的に検証できる指標<重要業績評価指標(KPI)>を定め、5年後(令和元年度)の目標を設定するとともに、各施策・事業ごとにPDCAシートにより進捗状況及び効果を点検、検証を行う。

★ 目標 ★

『地域住民が元気にいつまでも働くことのできる香南市』

『次代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、産業の新たな担い手となって活力が保たれる香南市』

◇ 各分野の数値目標

数値目標		基準値 (H27)	目標値 (R元)
農業	新規農業者数	10人/年	15人/年
林業	森林境界明確化面積	100ha	600ha以上
水産業	沿岸漁業総生産量	1,200トン	1,200トン以上維持
商工業	製造品出荷額	500億円	500億円以上
観光	観光施設入込客数	100万人	120万人以上
住宅	未設定	-	-

◇ 各分野のKPI・主な事業

<重要業績評価指標(KPI)>

各施策において、効果を客観的に検証できる指標として、5年後の(令和元年度)の目標を設定する。

戦略の柱 及び 各事業		重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27当初を設定)	目標値 (R1) ※5年間の延べ数	備考	
農業分野	農業生産基盤の充実	①防災施設対策整備	■整備個所数	-	1箇所	H28年度より
		②排水機場施設整備	■整備個所数	2箇所	5箇所	
		③地域農業水利施設事業	■整備個所数	3箇所	3箇所	
		④農業水利施設保全合理化事業	■整備個所数	1箇所	1箇所	
		⑤農地耕作条件改善事業	■整備個所数	1箇所	3箇所	
		⑥土地改良施設維持管理適正化事業	■整備個所数	-	1箇所	H28年度より
		⑦工業用水整備事業	■整備個所数	水路 4箇所 道路 1箇所	水路 12箇所 道路 4箇所	
		⑧農業集落排水整備事業	■整備個所数	2箇所	10箇所	
	防災への対策	①農村地域防災減災事業	■整備個所数	1箇所	4箇所	
		②重油流出防止付装置燃料タンク整備事業	■設置件数	19件	119件	
担い手対策の促進	①担い手育成センター研修支援事業	■支給人数	-	30人	H28年度より	
	②新規就農事業	■利用人数	4人	29人		

3-2. 第1次香南市 産業振興計画の数値目標とKPI、主な事業

戦略の柱 及び 各事業		重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27当初を設定)	目標値 (R1)	主な事業	
農業分野	担い手対策の促進	③農業次世代人材投資事業	■利用人数	10人	48人	
		④農業後継者推進事業	■支給人数	15人	60人	
		⑤実践型研修ハウス整備事業	■ハウス面積(a)	-	60a	H29年度より
	経営の改善の対応	①園芸ハウス整備事業	■整備件数	8件	73件	
		②経営所得安定対策推進事業	■利用件数	-	2,750件	H28年度より
		③農地中間管理事業	■活用件数	5件	25件	
		④環境制御技術導入普及促進事業	■活用件数	34件	135件	
		⑤産地パワーアップ事業	■活用件数	-	98件	H28年度より
	農産物のブランド化の推進と加工品の開発	①農山村振興交付金事業	■クラスター整備数 ■商品開発数	-	1件 3件	H28年度より
	消費者の安全安心志向への対応	①地産地消推進協議会補助事業	■香南市産農産物活用率	-	39%	H28年度より
		②信頼される地産づくり支援事業	■検体率	-	123検体	H28年度より
	農地の保全と活用の促進	①中山間地域等直接支払事業	■組織数	-	11組織	H28年度より
		②多面的機能支払事業	■組織数	-	10組織	H28年度より
	有害鳥獣被害対策	①鳥獣被害対策施設隊	■鳥獣捕獲数	680頭羽	3,790頭羽	
		②有害鳥獣被害防止事業	■防止柵(m)	-	30,000m	H28年度より
林業分野	基盤整備	①林道道路側溝整備事業	■整備箇所	8,273m	19,273m	
	森林資源保全	①緊急間伐総合支援事業	■間伐・切捨間伐・作業道	5ha 57ha 2,800m	46.43ha 195ha 10,600m	
		②森林整備地域活動支援事業	■森林経営計画、設業集約化、条件整備	203.75ha 10ha 224.97ha	503.75ha 20ha 335.97ha	
		③森林・山村多面的機能発揮対策事業	■周知	-	-	H28年度より
		④林地台帳整備事業	■整備	-	-	H30年度より
		⑤水源の森整備事業	■事業面積(ha)	5ha	25ha	
		⑥森林整備推進事業	■林業機械導入件数	2台	9台	
木質バイオマス	①森林の活用事業	■ボイラー設置数	2基	2基		

3-3. 第1次香南市 産業振興計画の数値目標とKPI、主な事業

戦略の柱 及び 各事業		重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27当初を設定)	目標値 (R1)	主な事業		
水産業分野	改修整備	①水産機能施設の整備	■整備件数	8件	12件		
		②漁港施設の整備改善整備率	■整備率	7%	43%		
	経営基盤強化	①新規漁業就業者の確保	■新規漁業者数	-	1人	H28年度より	
		②漁場の保全	■海藻類育成被度(%)	63%	70%		
		③漁業者の所得向上	■沿岸漁業総生産量	1,200t	1,200t		
		④観光漁業の推進	■地引網漁業経営体数	1経営体	1経営体		
	生産・加工流通・販売	①水産加工品流通販売の推進	■手結加工場による給食センターへの食材納入回数	3件	11件		
		②水産加工品流通販売の推進	■手結支所販売額	1,500万円	3,000万円		
	商工業分野	ものづくりの基盤整備	①香南工業団地整備事業	■新規立地件数	4件	4件	
			②香南工業団地企業立地促進事業	■採用件数	-	44人	H28年度より
③ルネサス高知工場及び川谷刈谷工業用地			■新規立地件数	-	ルネサス高知 1件 川谷刈谷用地 1件	H28年度より	
④企業立地優遇制度策定			■ -	-	-	H30年度より	
ものづくり		①香南市香我美企業立地交流会	■開催件数	1回/年	1回/年		
		②香南市ものづくり会	■開催件数	1回/年	1回/年		
		③香南市産業人材育成事業	■補助金交付件数	5件/年	5件/年		
		④香南市未来人材育成奨学金返還助成事業	■補助金交付件数	10件/年	10件/年		
		⑤香南市インターンシップ支援事業	■補助金交付件数	10件/年	10件/年	H30年度で廃止	
		⑥中小企業者の生産性向上支援事業	■認定件数	-	30件	H30年度より	
商業支援	①香南市緊急融資保証料補給金事業	■新規利用件数	-	2件	H28年度より		
	②魅力ある商業地・商店街づくり	■商工会との連携	-	-			
	③空き店舗等の活用事業	■補助金交付件数 ■事業継承診断 ■HPへの空き物件掲載	- - 10件	2件 30件 10件	H28年度より H28年度より		
	④創業支援事業	■ワンストップ窓口相談件数	-	32件	H28年度より		
	⑤創業支援利子補給交付事業	■利用件数	-	3件	H28年度より		

3-4. 第1次香南市 産業振興計画の数値目標とKPI、主な事業

戦略の柱 及び 各事業		重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27当初を設定)	目標値 (R1)	主な事業	
観光分野	核となる観光拠点の形成	①三宝山エリア観光拠点化事業	■新たな観光拠点数	1件	1件	
		②ヤ・シィパーク周辺の活性化	■入れ込み客数	-	36.6万人	H30年度より
		③manamanaの取組について	■売上高	-	54,193千円	H28年度より
		④歴史を中心とした博覧会事業	■入れ込み客数 (絵金蔵・アクトランド)	142,000人	115,500人	
		④観光施設間の連携	■観光施設連絡会 開催回数	-	4回/年	
		⑤歌舞伎でまちおこし事業	■イベント参加者数	-	1,200人	H28年度より
		⑥塩の道を活用した取組	■関係イベント参加者数	-	650人	H28年度より
		⑦レンタサイクル事業	■レンタサイクル貸出数 (アクトランド・サイクリングターミナルのいち駅)	-	2,300人	H28年度より
		⑧物部川エリア広域観光連携事業	■対象9施設入込客数	-	739,500人	H28年度より
		⑨市民と地域資源の総力を結集したビジネス支援事業	■カタログ売上高	-	104,200千円	H28年度より
		⑩地域まるごと旅行商品のランドオペレーター機能構築事業	■対象7施設入込客数	-	700,000人	H28年度より
観光分野	人材の育成	①まちの案内人事業	■案内人会 会員数	10人	26人	
観光分野	国際観光の推進	①外国人観光客の受入体制づくり	■研修会実施回数	-	2回/年	H30年度より
サイクリング分野	自転車を活用した観光への取組	①各種イベントの開催	■イベント参加者数	-	500人	H30年度より
		②サイクリングに対するPR	■推進団体の設立件数	-	1件	H30年度より
		⑦レンタサイクル事業	■レンタサイクル貸出数 (アクトランド・サイクリングターミナルのいち駅)	-	2,300人	H28年度より
		④サイクルオアシスの充実	■cycleオアシスの設置数	-	5件	H30年度より

3-5. 第1次香南市 産業振興計画の数値目標とKPI、主な事業

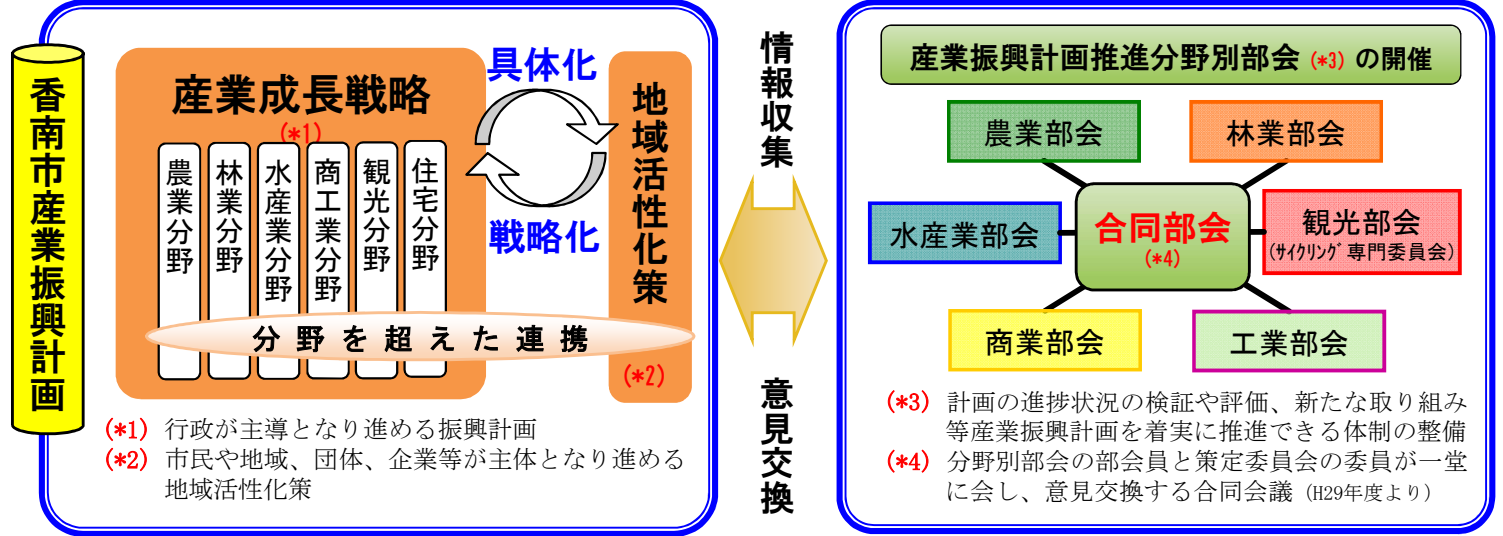
戦略の柱 及び 各事業		重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27当初を設定)	目標値 (R1)	主な事業	
観光分野	サイクリング分野	障がいのある方や高齢者へのスポーツ推進 ①タンDEM自転車の利用強化	■利用件数	-	50件	H30年度より
		健康増進と環境に配慮した取組	①健康ポイントを活用した取組	■健康サイクリング開催回数	-	4回
	②CO2の排出抑制への取組		■ -	-	-	H30年度より
	自転車の安全利用を推進する取組	①交通マナーや交通事故へのリスクに対する備え	■レンタサイクル貸出時のヘルメット貸出率	-	100%	H30年度より
住宅分野	住環境の整備	①住宅リフォーム制度	■利用件数	-	100件	
	市営住宅の整備	①浄化槽等設置工事	■工事件数	-	22件	H28年度より
	住宅の耐震化	①住宅耐震診断事業	■事業診断数	100件	120件	
		②住宅耐震改修事業費補助事業	■改修設計件数 ■改修工事件数	-	設計 90件 工事 90件	
		③コンクリートブロック塀耐震対策事業	■利用件数	-	30件	H28年度より
	空き家対策	①老朽化住宅等除却事業	■利用件数	-	40件	H28年度より
		②移住住宅促進空き家活用住宅事業	■お試し住宅整備件数	-	1件	H28年度より
		③空き家バンク事業	■登録件数	-	40件	H28年度より
④空き家改修事業費等補助金		■空き家改修件数 ■空き家修繕件数	-	改修 3件 修繕 2件	H30年度より	



4. 香南市産業振興計画の取り組み状況

香南市では

産業振興計画において取り組みを推進(平成27年度より)



- 計画の実効性をさらに高めるため、PDCAサイクルにより、数値目標の到達状況等を定期的に点検・検証！
- 点検・検証から達成に向けた取り組みをグレードアップ！

平成28年度の取り組み

- ★産業振興計画推進分野別部会による取り組みを継続
 - ・部会が機能しはじめたことにより、実質的な議論の展開が図られている。
 - また、部会が当事者として意見を出し合い、策定委員会と連動を図りだしている。
- ★新たな事業等への取り組み
 - * 産業人材育成事業
 - * 未来人材育成奨学金返還助成事業
 - * 新規就農研修支援事業(親元就農支援事業)

平成29年度の取り組み

- ★産業振興計画推進分野別部会による取り組みを継続
- ★新たな事業等への取り組み
 - * 担い手育成センター研修支援事業(移住連携)
 - * 環境制御技術普及促進事業(拡充)
 - * 農業活性化地域協議会事業
 - * 森林・山村多面的機能発揮対策事業
 - * 林地台帳整備事業
 - * 海岸保全施設長寿命化計画策定
 - * 遊漁船業等振興事業
 - * インターンシップ支援事業(移住連携)
 - * 創業支援利子補給金事業(移住連携)
 - * 大型クルーズ船の誘客促進事業
 - * 産業人材育成事業(拡充)(移住連携)
 - * 香南市空き家改修事業費等補助金(移住連携)
- ★分野別部会の部会員および策定委員による合同会議を開催

平成30年度の取り組み

- ★産業振興計画推進分野別部会による取り組みを継続
 - ・分野別の部会が機能しはじめたことにより、実質的な議論の展開が図られている。また、部会は当事者として意見を出し合い、策定委員会との連動を図っている。これら取り組みを継続して実施。
- ★分野別部会の部会員および策定委員による合同会議を継続
 - ・平成29年度に合同会議を開催し、他の分野の部会員と意見交換が行え、分野を超えたつながりを持つことができた。これら取り組みを継続して実施。
- ★新たな事業等への取り組み
 - * 農業大学校就学助成事業(移住連携)
 - * 実践型研修ハウス整備事業
 - * 園芸用ハウス整備事業(拡充)
 - * 吉川漁港海岸堤防耐震調査事業
 - * 街イベントの実施
 - * 産業人材育成事業(拡充)(移住連携)

令和元年度の取り組み

- ★産業振興計画推進分野別部会による取り組みを継続
 - ・水産部会へ内水面漁業関係者を新たな委員として依頼。
- ★分野別部会の部会員および策定委員による合同会議を継続
- ★幅広く産業振興の切り口を学ぶ「講演会」を開催
- ★新たな事業等への取り組み
 - * 農業次世代人材投資事業(拡充)
 - * 森林環境譲与税の活用
 - * 築いそ整備事業(種子島周辺漁業対策事業)
 - * 空き店舗対策事業(拡充)
 - * 未来人材育成奨学金返還助成事業(拡充)
 - * 香南市情報サービス施設等設置促進事業
 - * 自然体験型観光資源強化事業(ヤシパークランドデザイン)
 - * レンタカー会社と連携して誘客を促進
 - * 3市の観光資源を生かした旅行商品の造成及び販売

5. 香南市産業振興計画_KPIの達成状況について

香南市産業振興計画の策定とその推進にあたっては、香南市において、優先的に取り組むべき各分野の課題等を十分にふまえ、実効性の高い取り組みを行うとともに、着実かつ確実に推進するための体制を整えながら、その実現に向けて、各分野において「数値目標」を掲げ、香南市の産業の拡大を確立していくこととしており、それらの達成状況及び成果と課題を総評として下記のとおりまとめます。

香南市産業振興計画の数値目標の成果と課題（総評）

第1期 香南市産業振興計画の取り組み

（農業分野）

農業分野の「新規農業者数の確保」については、平成27・28年度は目標を達成できていたことから、平成28年度末に目標値の上方修正を行ったが、翌29年度以降は、目標達成には至っていない。

年間の累計人数では、目標59人に対し、現在4年間で47人となっている。

新規就農者の確保のための就農支援や補助制度は充実しているが、相談の中で今後の予定を立てられていない人も多く、就農まで至らないケースが多いのが現状である。

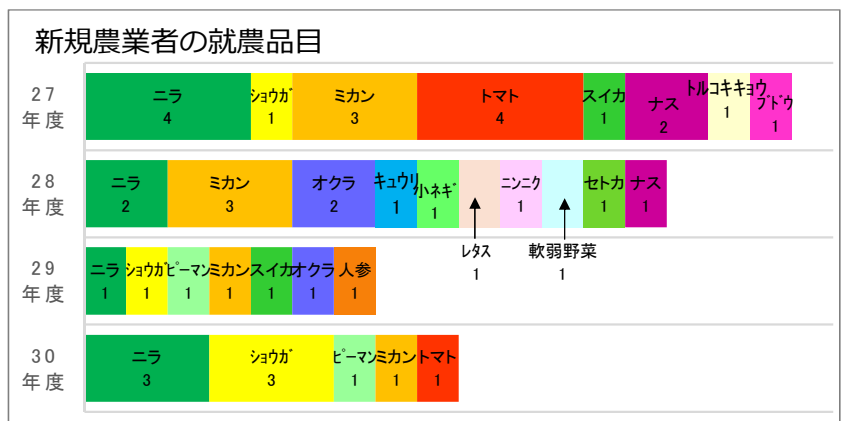
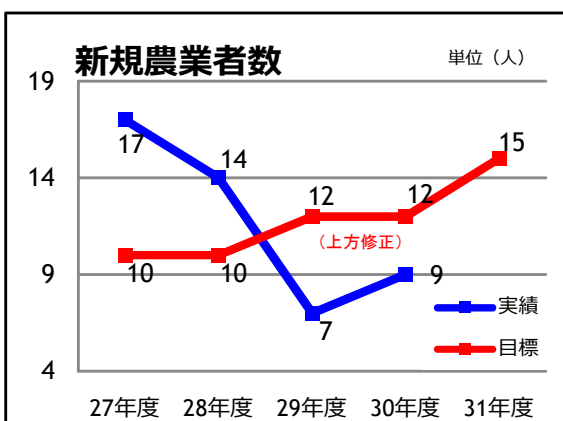
第2期香南市産業振興計画においても、引き続き、新規就農者が増えるよう、就農支援や補助制度の拡充と就農に向けたイベントに参加し、周知を行っていく。

また、農家への環境制御装置導入普及事業や産地パワーアップ事業を活用した先進機器の導入を推進し、生産基盤の向上に向けた取組に努め、「就農地を香南市にしたい」という魅力のある産地づくりに繋げ『新規就農といえば香南市』となるような取組を進めていく。

さらに、平成30年度に整備した実践型研修ハウスの利用を促し、より就農に近づくよう管理運営に努めながら、既存農家の労働条件の改善のための水路・堰の改修を進めるとともに、今後、発生件数が増加してくると予想される災害復旧の支援にも力を注いでいく。



農業担い手候補生として、みかん農家を
目指して勉強中の地域おこし協力隊員



(参考：まち・ひと・しごと創生総合戦略より)



香南市の魅力的な農作物



H31.3.14

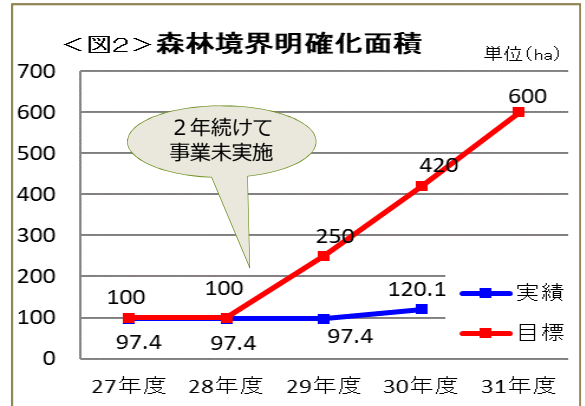
繁忙期の人手不足の解消と生産者の所得向上を目指し、
果樹生産者やものべみらいなど7機関が連携協定を締結

(林業分野)

林業分野の「森林境界明確化事業（団地化及び境界明確化）」については、森林の所有者が特定できない、同意が得られない、事業主体の香美森林組合や高知県等関係機関との調整が必要等の理由から事業未実施の年度が続いていたが、平成30年度から事業を再開している。

間伐事業を実施することで、植物の生態系の保全や災害の防止にもつながるため、引き続き、間伐事業に取り組んでいく。

また、高性能林業機械の導入により、生産性も向上し、森林の保全・活用と合せて、林業従事者の所得向上は図れている。



(水産業分野)

水産業分野の「沿岸漁業総生産量」については、平成28年度が693トンと例年になく不漁であったが、翌年度からは総生産量は上昇し、平成30年度には目標値（1,200トン）に大きく近づいている。

また、高知県漁業協同組合手結支所が、シイラの加工・流通・販売体制の強化に取り組んだ成果もあり、総生産量と合わせて生産額（漁業所得）も大きく上昇しており、所得の向上は図れている。

(※ 平成29年度までは県漁協3支所の水揚げデータを実績としていたが、平成30年度からは市内民間企業の生産量を追加。県漁協3支所のみは平成30年度は1,058トン)



手結漁協に水揚げされたシイラ



漁港施設の改修も順調に行っている。また、水産加工品の流通販売として、手結加工場の販売額は大きく売り上げを伸ばしており、今後も加工・流通・販売体制を強化していきたい。

後継者の育成については、高知県漁業協同組合赤岡支所において、平成26年度途中から2年間の研修で、シラスバッチ網への新規漁業就業者を1名確保したのみで、漁業就業者の高齢化から新規漁業就業者の確保が課題となっており、関係機関と連携し確保に努めているが、市内主要漁業形態の特徴から一人での就業は難しく、就業に至っていない。引き続き、就業支援センター等と連携を図り、新規就業者の確保に努めていく。

また、市内水産物（シイラやじゃこ等）の認知度向上に向けた取り組みを検討・実施することで、香南市ブランドの展開を図る。



（商工業分野）

商工業分野の「製造品出荷額」は、基準年（平成26年度）が407億円（工業統計調査）であり、目標を500億円と設定していたが、平成27年度から減少し、目標値達成は困難となっている。

減少の理由として、香我美町のルネサスエレクトロニクス（株）の撤退に伴う製造品の出荷の減少が大きく影響していると思われる。

平成30年度には香南工業団地への企業誘致（5区画）が完了し、ルネサスエレクトロニクス（株）の譲渡先が決定。立地企業の会社説明会や面接会を関係機関と連携し実施しており、多数の参加と地元雇用の確保に繋がっている。

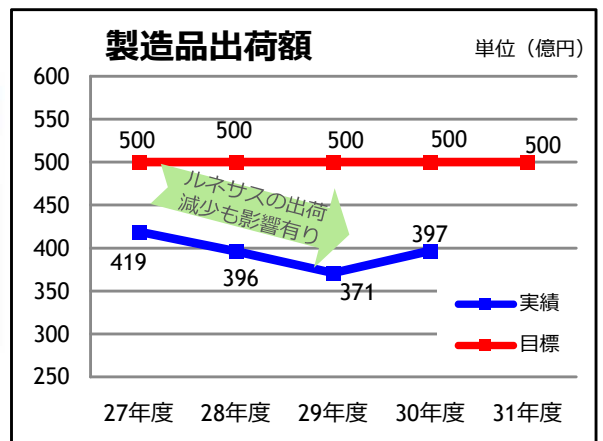
また、企業に関するさまざまな知見やネットワークを有するイシン（株）と包括協定を締結することができたことから首都圏企業への誘致活動を行う等、新たな企業誘致の取り組みを進めることができている。

今後は、目標値の達成に向け、誘致企業と既存企業の生産性向上につながる支援に努めるとともに川谷刈谷工業団地への企業誘致に一層取り組んでいく。また、事務系企業の誘致にも積極的に取り組んでいく。



企業誘致が完成した香南工業団地

H30.12.18
イシン（株）と包括協定を締結



（観光分野）

観光分野の「観光施設入込客数」については、平成27・28年度に目標を達成しており、「志国高知 幕末維新博 (H29. 3. 4開催)」の開催にあわせ、平成29年2月に100万人から120万人へ上方修正を行ったが、以後、目標達成には至っていない。

平成30年度においては、悪天候や豪雨災害等の影響や、繁忙期の集客が減少したことから、昨年度実績を下回っている。

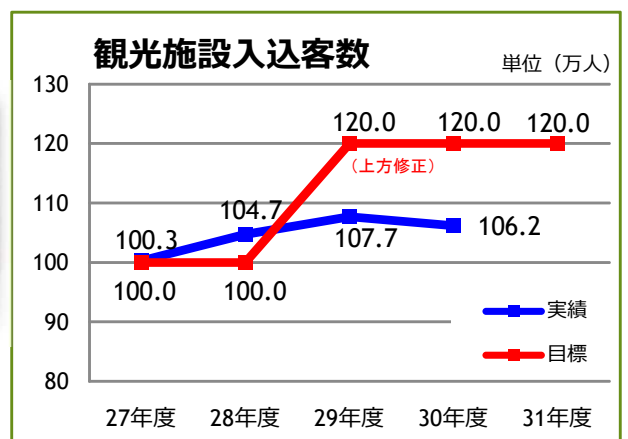
今後は、既存のイベントのバージョンアップを行うとともに、天候に影響されることなく集客の確保が図れるイベントにする等、内容を見直すことにより新規顧客の開拓やリピーターの増加を目指す。加えて、インスタグラムの活用等、情報発信の仕組みづくりの構築に向けた協議も行う。

また、平成30年度には観光拠点の磨き上げとして、ヤ・シィパークランドデザインの策定とグランピングの整備を行ったことから、今後は、それらを活かした施設や動線等の再整備やイベント等を実施することで、ヤ・シィパークを中心に周辺地域等を周遊できる仕組みづくりに取り組む。



ヤ・シィパークでの
グランピングイベント

赤岡絵金祭り



(サイクリング)

自転車を活用した取り組みとして、平成30年度に地域おこし協力隊を雇用し、市内のサイクリストや関係者に声掛けを行い、サイクリングを推進する団体「Maze-Cle (マゼクル)」を設立。

今後は、県内のサイクリング関係団体等とも連携し、健康増進と環境に配慮した取り組みやイベント、サイクルオアシスなどの環境整備をすすめ、「サイクルツーリズム(自転車での観光)」による観光の促進を図る。



ヤシシクロクロスカップ



整備されたサイクルオアシス



H30年度に結成「Maze-Cle」

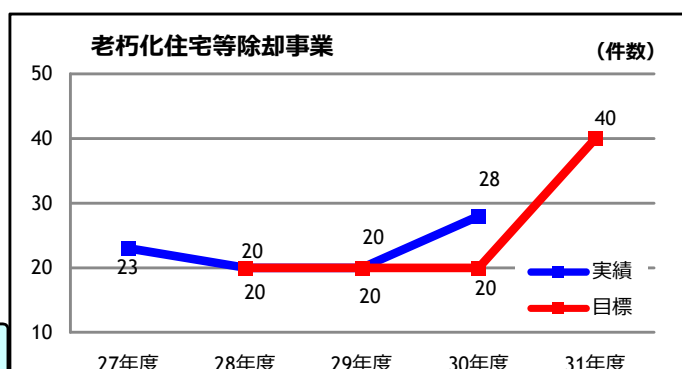
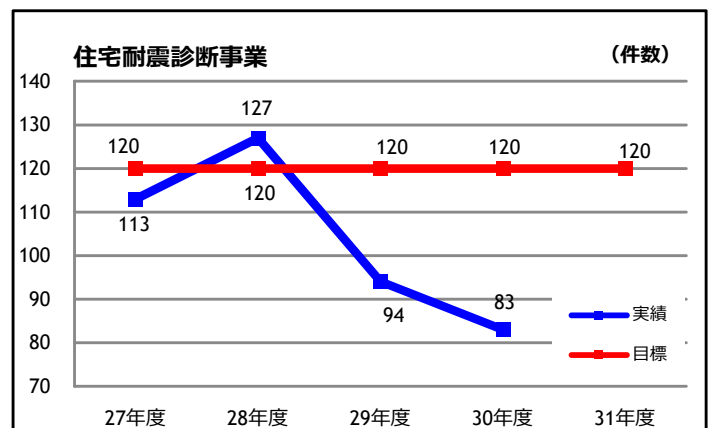
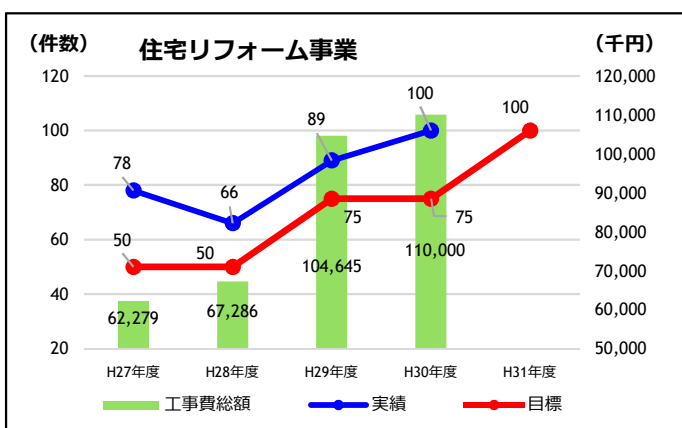
(住宅分野)

住宅分野では、住環境の整備として、市内に所有し居住する個人住宅を対象に、リフォームに対する支援を行ってきた。制度活用の需要は多く、地域経済の活性化及び生活環境の向上は図れており、引き続き、制度の周知に努めていく。

また、住宅の耐震化事業にも取り組んでおり、木造住宅耐震診断や耐震改修費への補助金も整備しているが、利用は目標まで至っていない。

各地で震災等が発生した際には問い合わせも多くなる傾向があることから、震災前の対策としての必要性を周知していく。

空き家対策として、空き家バンクの登録や老朽住宅等除却事業を実施しており、目標を上回る実績となっている。老朽化した空き家は災害時の避難や延焼など多くの影響が想定されることから、引き続き、事業の周知と空き家の利活用を含めた移住施策と連携を図っていく。

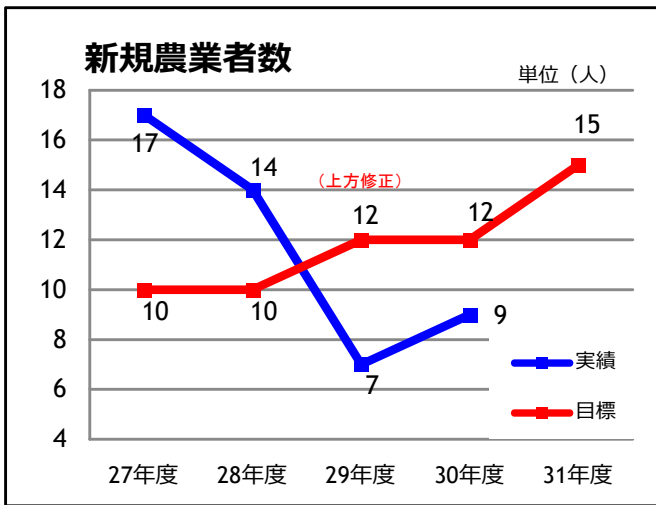


◆ 各分野の目標値達成状況

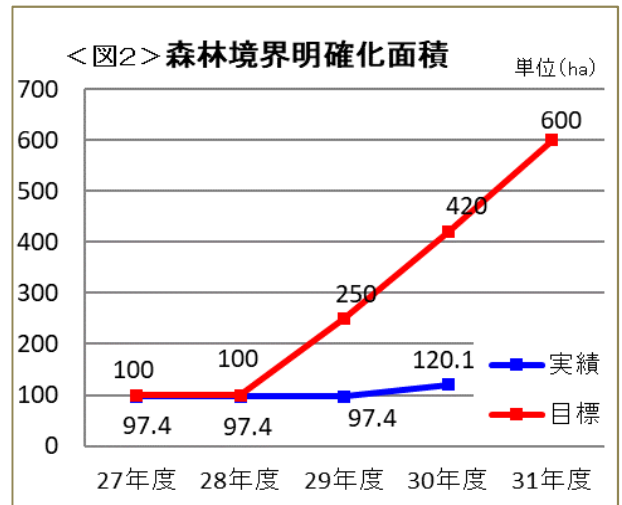
※1・2：H27～H30の4年間を対象

分野	各分野の「数値目標」	第1期 目標値 (累計) ※1	第1期 実績値 (達成率) ※2
農業	新規就農者数 (人)	44人	47人 (106.8%)
林業	林業境界明確化面 (ha)	420ha	120.11ha (28.6%)
水産業	沿岸漁業総生産量 (t)	4,800 t	3,737 t (77.9%)
商工業	製造品出荷額 (億円)	2,000億円	1,583億円(79.2%)
観光	観光施設入込客数 (万人)	440万人	418.9万人(95.2%)
住宅	-	-	-

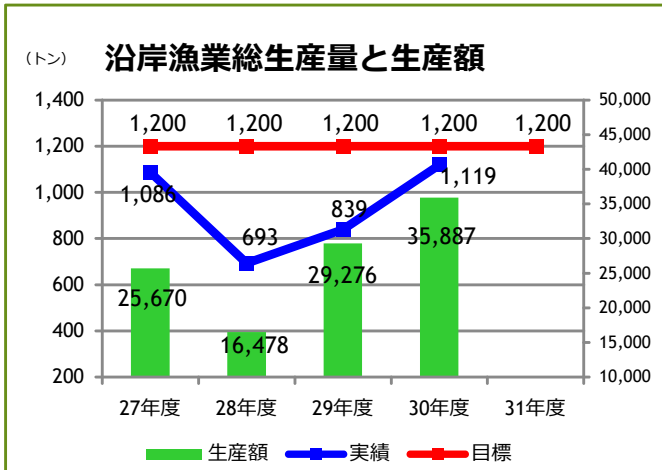
農業分野



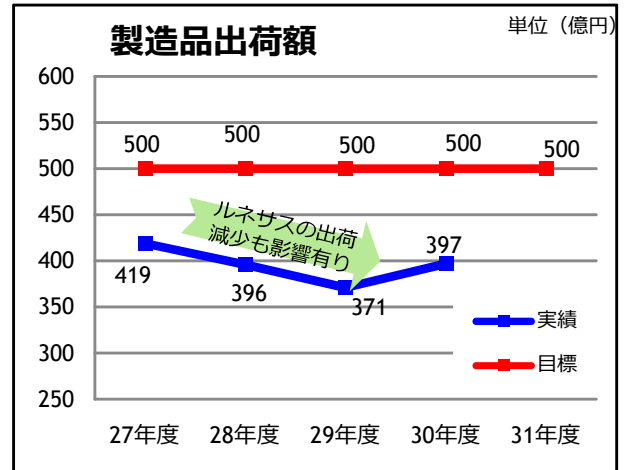
林業分野



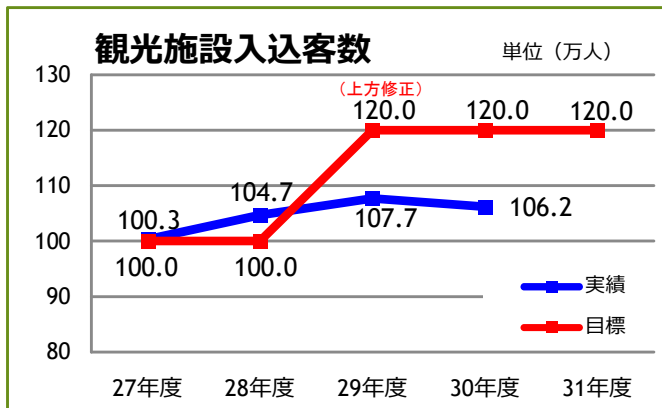
水産業分野



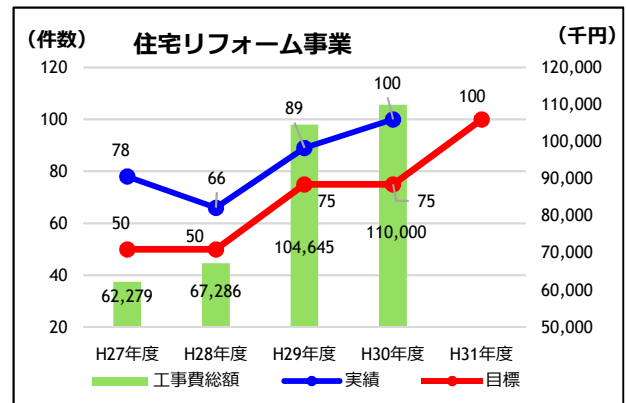
商工業分野



観光分野



住宅分野 (参考)



6-1. 数値目標と重要評価指標の評価検証結果

香南市産業振興計画に掲げる各分野の事業についてKPI評価を実施しました。
 なお、計画期間における実績値及び取り組みの内容については、別冊の「第1期 香南市産業振興計画 数値目標及びKPI評価書（平成27年度～平成30年度）」でご確認ください。

【評価基準】

- (A) ・数値目標を達成したもの（数値目標の達成率もしくは達成見込み率が100%以上）
 ・数値目標ではないが客観的評価ができる目標を達成したもしくは達成する見込みがあるもの
- (B) ・数値目標をほぼ達成したもの（数値目標の達成率もしくは達成見込み率が60%以上100%未満）
- (C) ・数値目標の達成に向けて十分な進展が見られなかったもの（数値目標の達成率もしくは達成見込み率が60%未満）
 ・当計画の取り組み開始時と比べて、数値を改善もしくは維持できなかったもの、または状況を改善できなかったもの
- (-) ・年度の到達目標値が0、及び平成30年度着手のため達成状況が図れないもの

		事業数	達成度合			
			A	B	C	-
農業分野 	(1)農業生産基盤の充実	8	4	1	3	
	(2)防災への対策	2	1	1		
	(3)担い手対策の促進	6	4		2	
	(4)経営の改善の対応	5	2	2	1	
	(5)農産物のブランド化の推進と加工品の開発	1	1			
	(6)消費者の安心安全志向への対応	2	1	1		
	(7)農地の保全と活用の促進	2	1	1		
	(8)有害鳥獣被害対策	2	1	1		
	計	28	15	7	6	0


		事業数	達成度合			
			A	B	C	-
林業分野	(1)基盤整備	4	2		2	
	(2)森林資源保全	9	1	1	5	2
	(3)木質バイオマス	1	1			
	計	14	4	1	7	2

		事業数	達成度合			
			A	B	C	-
水産業分野	(1)改修整備	2	1	1		
	(2)経営基盤の強化	4		2	1	1
	(3)生産・加工・流通・販売	2	2			
	計	8	3	3	1	1

6-1. 数値目標と重要評価指標の評価検証結果

		事業数	達成度合			
			A	B	C	-
商工業分野	(1)ものづくりの基盤整備	5	3		2	
	(2)ものづくり	6	2		4	
	(3)商業支援	8	4	1	3	
	計	19	9	1	9	

		事業数	達成度合			
			A	B	C	-
観光分野	(1)核となる観光拠点の形成	11	4	5	1	1
	(2)人材の育成	1		1		
	(3)国際観光の推進	1		1		
	計	13	4	7	1	1

		事業数	達成度合			
			A	B	C	-
サイクリング 	(1) 自転車を活用した観光への取組	4	2	2		
	(2) 障がいのある方や高齢者へのスポーツ推進	1	1			
	(3)健康増進と環境に配慮した取組	1	1		1	
	(4)自転車の安全利用を推進する取組	1		1		
	計	8	4	3	1	0

		事業数	達成度合			
			A	B	C	-
住宅分野	(1)住環境の整備	1	1			
	(2)市営住宅の整備	1			1	
	(3)住宅の耐震化	4	1	3		
	(4)空き家対策	7	3	1	1	2
	計	13	5	4	3	2



7. 香南市産業振興計画の策定に向けて

◆ 第1期 香南市産業振興計画のまとめ

香南市産業振興計画の推進にあたっては、地域住民が元気に働ける、バランスのとれた持続可能な産業構造を構築することに加え、学びの段階から事業化までの多様なサポートにより、実践者のチャレンジを応援する体制を築くために、プライオリティ（優先順位）やその効果をにらみ、着実かつ確実に推進するための体制を整えながら、PDCAサイクルによる見直しや検証を行い、毎年度バージョンアップを図り、香南市が目指す「将来像」の実現に向けて取り組んできた。

香南市の経済活動別総生産額は、H27とH28年度を比較すると合計で455百万円の増加がみられ、経済成長率も -1.1% から 0.5%と伸びている。（17ページ 図1参照）

しかし、H30年度時点で、掲げてきた「数値目標」を達成している部会は農業部会のみであり、数値目標の達成度は高いとは言えない状況である。（当資料 14ページ参照）

香南市の生産年齢人口（15歳以上65歳未満）はH27年度（2015年）の18,375人から、R2年度（2020年）は17,612人（▲763）、R7年度（2025年）は16,958人（▲654）、R27年度（2045年）には13,237人（▲4,375）になると推計されており、総人口に対する生産人口の比率はH27年度の55.7%から30年後のR27年度は50.5%に減少する見込みである。（17ページ 図2参照）

分野によっては既に「人材（担い手）の確保」が困難になりはじめており、生産量の拡大や新たな挑戦を断念・延期する傾向にあることから、本市の経済においてもブレーキがかかりはじめていると考えられる。（18ページ 図3参照）

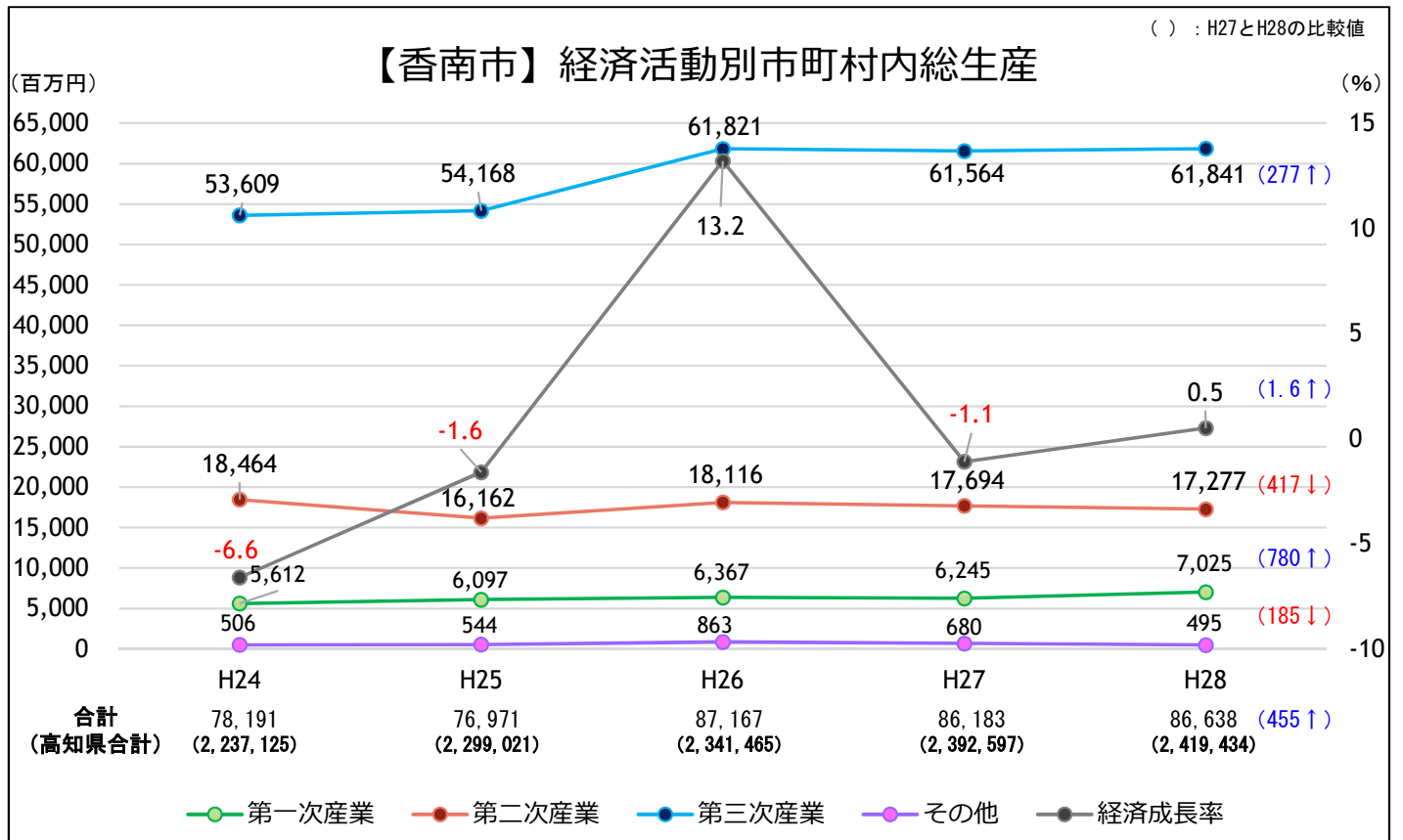
また、直近の求人賃金（企業等の提示額）と求職賃金（求職者が求める額）を比較すると、求職賃金が求人賃金を下回り、R1.9時点では11,813円の差がうまれていることや、有効求人倍率はH27年度の0.80から0.95と上昇傾向にあるが、依然として有効求職数は有効求人数を下回っている（1.0以下）状況等もあり、各分野の数値目標への達成に影響を与えていると考えられる。（18ページ 図4・5参照）

以上のことをふまえ、香南市産業振興計画では、各分野の取り組みを継続していくとともに、施策同士の連携による相乗効果を高めていき、必要な改善等を図りながら「第2期 香南市産業振興計画」を策定することとしている。

7. 香南市産業振興計画の策定に向けて

(図1)

(平成28年度 市町村経済統計書 (令和元年度9月公表))



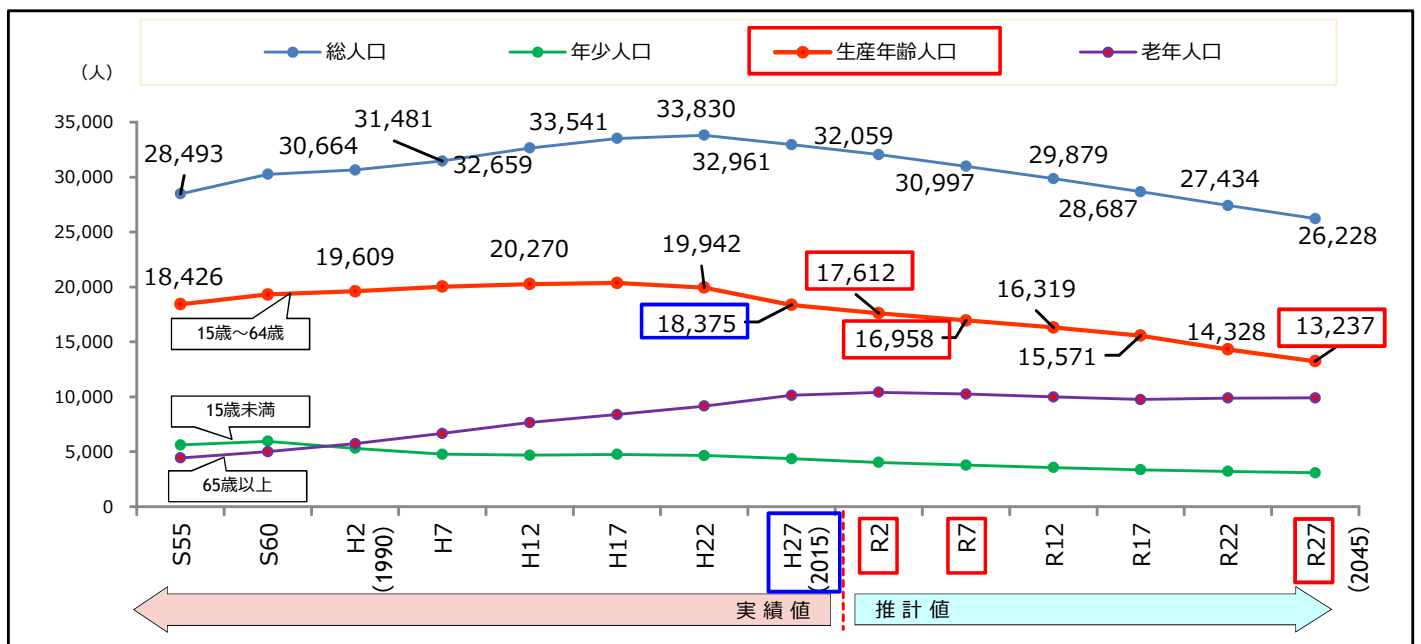
◆ 市町村経済都計の概念

- ・ 労働者や企業等の活動によって物やサービスが生産され、販売などを行うことにより生み出される新たな価値(付加価値)の合計。

※ 付加価値 = (物やサービスの販売額 - 生産に要した費用)

香南市の各年齢人口の推移グラフ

(図2)

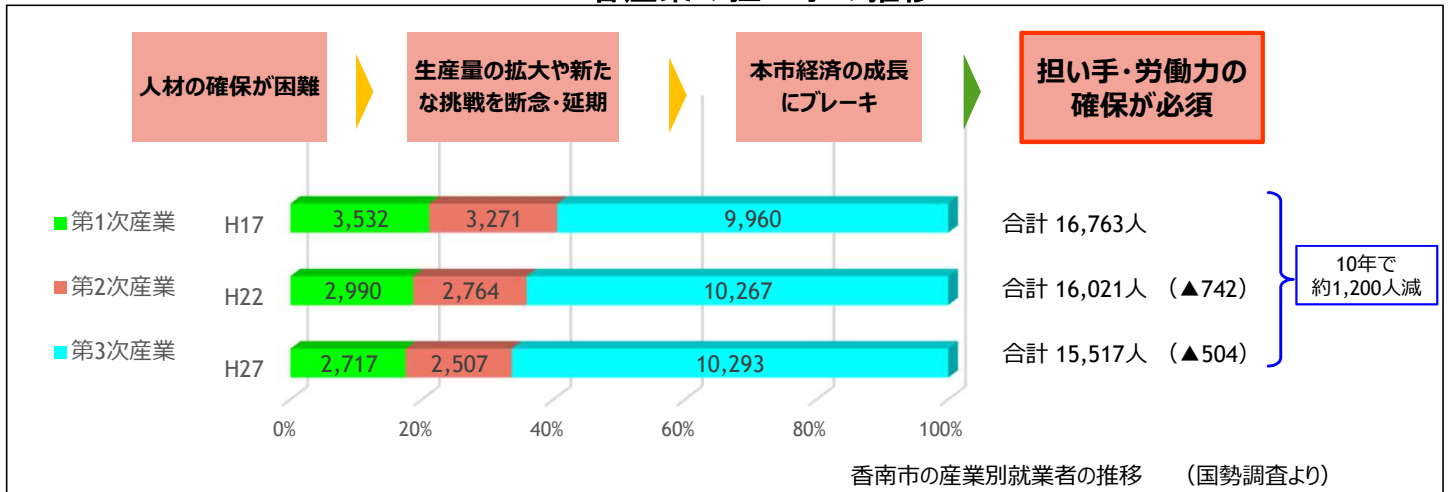


【出典】 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
 【注記】 R2年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ (H30年3月公表) に基づく推計値

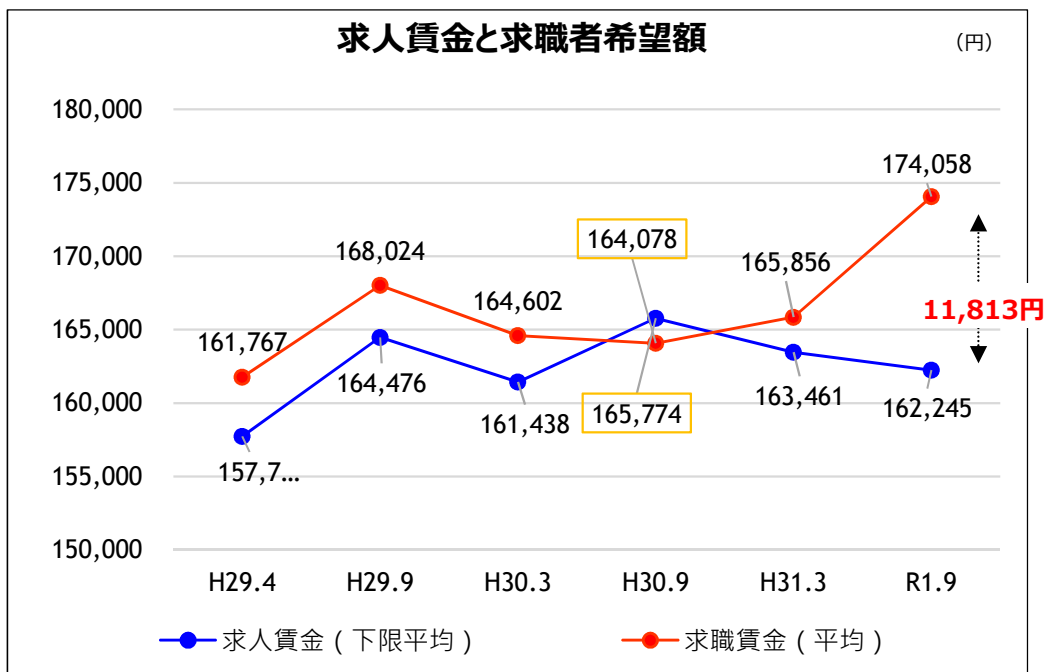
7. 香南市産業振興計画の策定に向けて

(図3)

各産業の担い手の推移

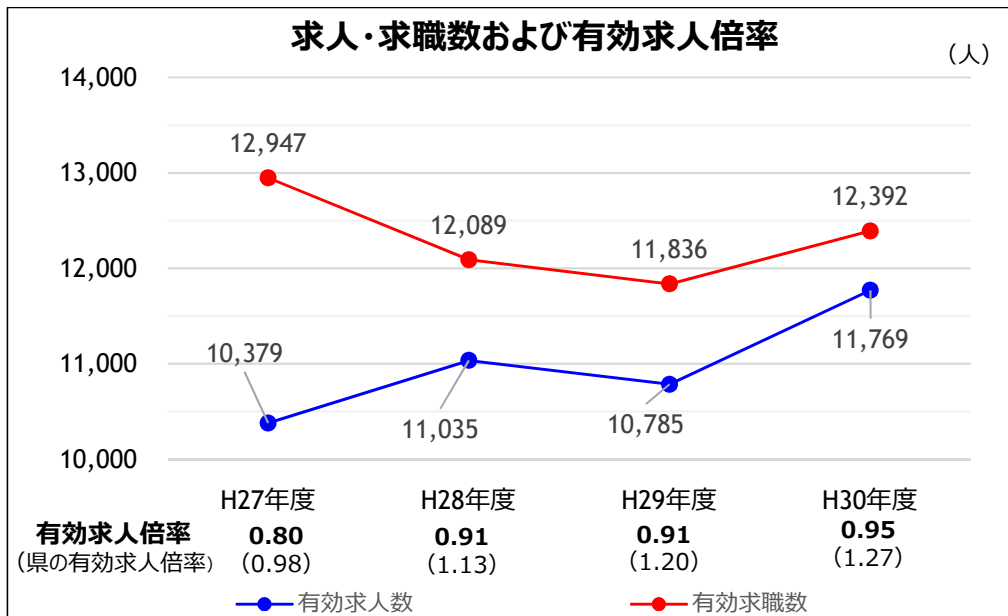


(図4)



(ハローワーク香美所管内データより)

(図5)

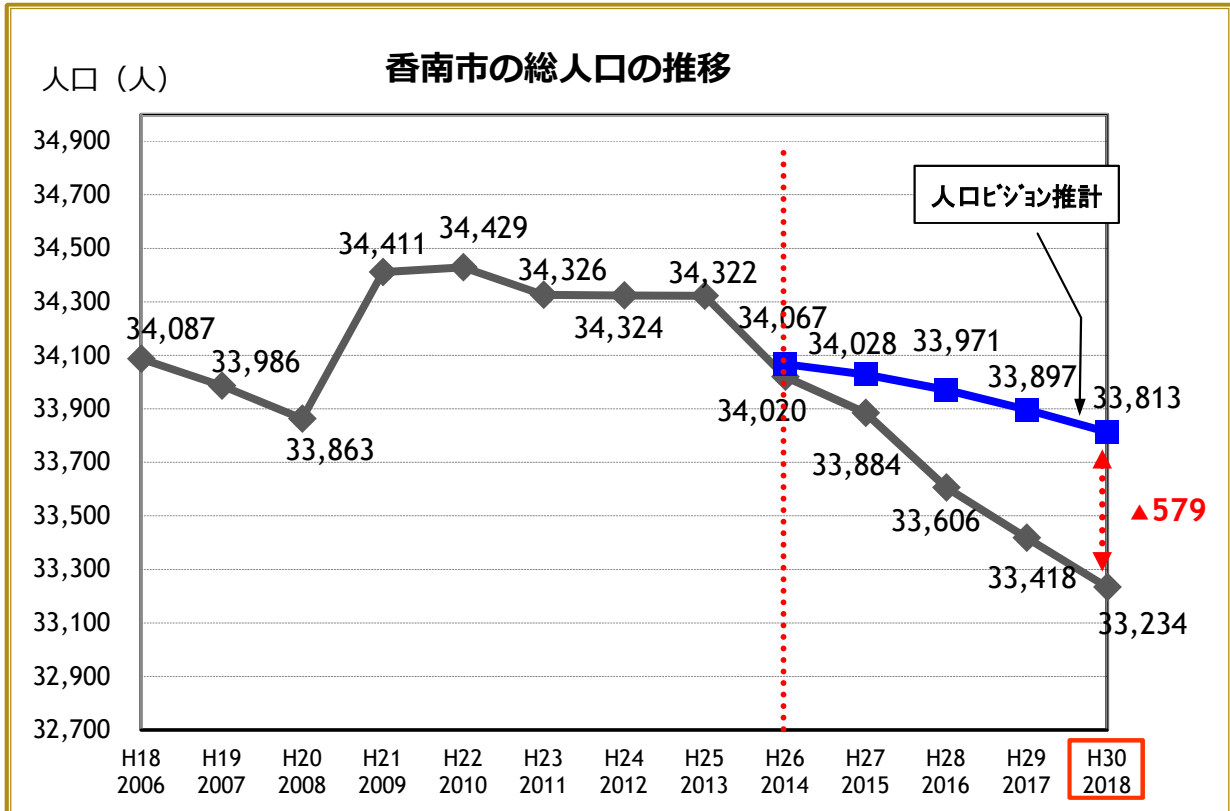


(ハローワーク香美所管内データより)

● 香南市における総人口の推移

人口ビジョン策定後(平成27年度)の香南市の総人口の推移については、緩やかでは減少傾向にも、その傾向は変わらず、平成30年3月末は33,418人で前年度比が▲188人、平成31年3月末は33,234人で前年比は▲184人となっています。

また、2060年に30,800人を目標としている人口ビジョン推計よりもその減少率は大きくなっています。



出典) 住民基本台帳(3月末)

人口減少に歯止めをかけ、持続的発展にむけ、香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、「香南市産業振興計画」「香南市人生支援計画」と連携した取り組みがスタートして5年を迎えます。

産業の振興や雇用者の増加、移住・定住促進の仕組みづくりによる移住者の増加、また、子ども、子育て支援・環境の充実支援や協働のまちづくり(防災・交流など)など少しずつではありますが、成果が出ています。

香南市人口ビジョンについては、2060年を対象期間としており、5年目を迎える今年度での時点修正などの見直しは行わず、引き続き、人口30,800人を目標とします。